

# ご家族や お友達へのヒント

聴こえの悩みを抱える人にとって、  
周りにいる人とのコミュニケーションを取ることは、  
簡単なことではありません。  
補聴器をつけることは、その方が世界とのつながりを  
再構築する手助けとなりますが、  
補聴器をつけているご本人を困むご家族や、  
ご友人のご理解と温かい支援が欠かせません。

補聴器を使えば使うほど、あなたの脳はより上手に周辺の雑音から会話音を切り離すことができるようになります。補聴器をつけている人が一日を通して、また毎日欠かさずことなく装用を続けていけるように後押しをして差し上げてください。

難聴を抱える人にとっては聴き取りは常に努力を伴うものとなり、会話に参加することはとても疲れるものです。

もしあなたにとって大切な(補聴器をつけている)人から疲労の様子が感じられるときは、会話を強制したり長引かせないように注意をしてください。補聴器にはまだまだ限界があり、聴こえを完全に元通りに戻すことができるものではないことをご理解ください。

## 正対する

唇の動きや顔の表情など視覚的なヒントは会話の理解を助ける有用な情報です。可能であればあなたの顔と唇が補聴器を使っている人から良く見える位置に立つようにしてください。隣の部屋から呼びかけたり、背中を向けたまま話しかけることはできる限り避けるようにしてください。

## 言い回しを変えてみる

もし話しかけている相手が聴き取りに困っていたりうまく理解できないときは同じ言葉を何度も繰り返すのではなく言い回しや表現を変えてみるようにしてください。

## 背景の騒音を減らす

テレビやラジオを消すか、静かな場所に移動をしてください。背景騒音がより少ない環境のほうが聞き手にとって会話がしやすくなります。

## 叫ばないように

叫ぶように話をすることは会話音をかえて歪ませクリアではなくしてしまいます。話しかけるときは言葉がクリアでくっきりとわかりやすくなるように心がけてください。心持ちゆっくり目で話しかけてください。

## 口元を塞がない

あなたの口元を塞がないようにしてください。新聞を広げて手に持った状態、何かを食べたり飲んでいたり、あるいは煙草を吸っている状態はあなたの口元を塞ぐことになり、視覚的なヒントを隠してしまいかねません。

## あなたの表情が良く わかるように照明の 良い場所を選ぶ

そうすることで相手からあなたの表情が良くわかり視覚的なヒントや表情を読み取りやすくなります。

## 注意を引き付ける

あなたが言いたいことから気がそれたりして聞き逃すことがないように話しかける最初のタイミングで聞き手が集中して関心に向けていることを確かめてください。